



ピーターサンドさんのねこ

スロボドキン作 ^{しみず ま さ こ} 清水真砂子訳 ^{しょほう} あすなろ書房

ピーターサンドさんは、たくさんのねことホテル島^{じま}でくらしています。島^{しま}にきた町^{まち}の人^{ひと}びとが、ねこを勝手^{かって}に自分^{じぶん}の別荘^{べっそう}へ連れていっても、ピーターサンドさんは見^みのがしてくれました。ところがある夏^{なつ}、ピーターサンドさんはけがをして、入院^{にゅういん}することになりました。冬^{ふゆ}になって、ようやく島^{しま}にもどると、そこにいたのは、やせ細^{ほそ}ったねこがたったの九^{きゅう}ひきだけ。町^{まち}の人^{ひと}びとは、夏^{なつ}が終^おわると、ねこをほったらかしにして帰^{かえ}ってしまっただけです。悲^{かな}しんだピーターサンドさんは、ある決断^{けつたん}をしました。

